

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	NNB九大スクエア	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市西区北原-田原土地区画整理事業地内1街区1.2.5	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	287人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	
敷地面積	2,308㎡	作成者	川本 崇人
建築面積	743㎡	確認日	
延床面積	5,934㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	・街並みに対する圧迫感を和らげるために学園通線に対し建物前の空間を広く取るように配慮しました。	その他 0
Q1 室内環境	・階床遮音性とホルムアルデヒドの発散を抑えた建材を使用し安全で快適な居住空間になるよう配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) ・道路沿いに緑地を多く配置する事で生物の住環境や街並みの景観に配慮しました。
LR1 エネルギー	・LED照明などの高効率設備機器などを採用しました。	LR3 敷地外環境 ・戸数分の駐輪場を設置し路外駐輪等が無いように配慮しました。 ・荷捌きスースを設け路上駐車が生じないように配慮しました。
Q2 サービス性能	・段差の解消など福祉に配慮した計画としました。	
LR2 資源・マテリアル	・節水性に優れた設備機器などを採用しました。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される